

湯河原ロータリークラブ



WEEKLY REPORT

ロータリーを实践し
みんなに豊かな人生を

第 2500回 例会
平成25年7月26日(金)
天候 晴れ
合唱 奉仕の理想
四つのテスト

会長 渡辺 久恭

幹事 石田 浩二

事務所 神奈川県足柄下郡湯河原町宮上 566 湯河原温泉観光協会内
TEL 0465(64)1234 FAX 0465(63)1716

例会場 静岡県熱海市泉 107 ニューウェルシティ湯河原
TEL 0465(63)3721 FAX 0465(63)6401

例会日 毎週金曜日 12:30~13:30

ガバナー公式訪問・クラブ協議会

例会場：湯河原観光会館2階中会議室
〒259-0314
神奈川県足柄下郡湯河原町宮上566
電話：0465-62-3761
FAX：0465-62-1559

会長挨拶

先週の7月20日土曜日の13:00~17:00に藤沢産業センターで行われた、地区財団セミナーに、土屋さんと一緒に出席して来ました。去年から財団セミナーは3~4回ほど参加していますが、よく分かっていませんでした。今回、山田補助金委員長が簡単に分かりやすく説明して下さいました。また、今回、井島ガバナー補佐から色々聞いていると言う事もあったか、今回のセミナーで新地区補助金について大分、わかってきたような気がします。今までは、一件当たり20万位の割り当てに対してかなりの労力を使うし、貴重な寄付金を小出しに使うより、世界中でもっと有効な使い道があるのではと勝手に思っていました。山田委員長の説明や井島ガバナー補佐の小田原中クラブの奉仕プロジェクトへの取り組み方などを聞いて、やはりRIは、このような事業を通してクラブに奉仕活動の場を与えているのかなと感じました。まず進め方として、ニーズを探ることが大事で中クラブは、まず、市役所に行って、困っている事は無いか聞きに行ったそうです。また、高木地区奉仕プロジェクト副委員長の言葉の中に、はじめにニーズありき、求められる支援を求める人へ！クラブの予算や地区に補助金があるから奉仕活動をするのではなく、ニーズあってこそその奉仕。みんなのためにすべてはできなくても、誰かのために何かはできるとあります。勉強になりました。とは言っても湯河原クラブは親睦が第一で、クラブを充実させ、奉仕活動に取り組みたいと思います。

幹事報告

ガバナーより

- 「米山奨学セミナー」開催のご案内
日時：8月31日(土)14時~17時
場所：藤沢産業センター8階「情報ラウンジ」
対象者：米山奨学委員長
回答期限：8月19日(月)
- 会員増強月間卓話者決定のお知らせ
卓話日：8月23日(金)
卓話者：小嶋章司(小田原城北RC)

3. 8月のロータリーレート 1ドル100円
連絡事項

- 湯河原温泉観光協会より協賛のお礼として納涼縁日おあそび券が届きました。
- 8月の例会は、2日、9日通常例会、16日休会、23日、30日通常例会となります。

スマイルBOX

ご婦人誕生日 小松雄成君(澄代様・7/26)
ガバナー 相澤光春様
公式訪問にお伺いいたしました。よろしく
お願い申し上げます。
ガバナー補佐 井島誠行様
本日は相澤ガバナーのお供で参りました。
どうぞ宜しくお願い致します。
渡辺久恭君・石田浩二君
相澤ガバナー、井島ガバナー補佐、湯河原
までお越し下さいまして誠にありがとうございます。
本日は宜しくお願い致します。
高知尾朝行君
納涼縁日に協賛していただきありがとうございます。
高杉尚男君
暑中広告を新聞社2社に掲載しました。
佐藤泰文君
ガバナー公式訪問にクラブ計画書を忘れて
しまいました。
第2500回の例会を記念して全員でスマイル

出席報告	ゲスト 0名	ビジター 2名	会員 24名
	欠席 1(免除者1名)		出席率 100.00%
	前回の修正出席率 95.83%	前々回の修正出席率 95.83%	

ビジター ガバナー 相澤光春様
ガバナー補佐 井島誠行様

ガバナー 相澤光春様

2013-14年度R1会長ロンDバートン氏のテーマはご高承のとおりロータリーを実践しみんなに豊かな人生を— でございます。

R1会長のテーマはすごく分かりやすく説明はいたしません、
・私は（これを受け）「奉仕の実践と公共イメージと認知度の向上を目指すこと」といたしました。

・ボールハリスはロータリーを創設したとき、同じような考えを持つ人々が集まるクラブを心に描きました。
同じことに関心を持ち、同じことに価値観を見出し同じような目標や理念を持つ人々です。

・ロータリーはあらゆることが「中核となる価値観」を土台としてまたベースとして三つの優先項目（実践計画の目標）が示されております。

クラブのサポートと強化・人道的奉仕の重点化と増加そして公共イメージと認知度の向上であります。

ロータリーをより良くしようという構想の下に始まったロータリーの戦略計画で、2007年にほぼ固まり3年毎に見直していくこととしております。2013-14年も最重要としてさらに進化し、戦略計画が続けられていきます。

戦略計画の10年先、50年先のロータリーの「ビジョン」である「地域の人々の生活を改善したいという情熱を社会に役立つ活動に注いでいる献身的な人々の世界的ネットワーク」、大変分かり安いこの「ビジョン」が本年のロータリーの友1月号にR1戦略計画委員南園義一さんの「ロータリーの目的」と「R1戦略計画の理念」の中にビジョンが（本質）となりました。話をもどしますが、先にお話しました、三つの優先項目のうち「公共イメージと認知度の向上」を取り上げさせていただきましたのは戦略計画はロータリアンの夢や希望を取り入れながら進化してきました。その間アンケート調査を実施、その結果ロータリーが何をしているのかよく分からない方々が大変多いという結果がでております。

いろいろな方々にもっともっとロータリーを知ってもらいたいと私は「公共イメージと認知度の向上」を取り上げる必要性を痛感いたしました。

そして公共イメージと認知度の向上その中に更に5つの項目が掲げられています。

- ・イメージとブランド認知を調和させる。
- ・行動を主体とした奉仕を推進する。
- ・中核となる価値観を推進する。
- ・職業奉仕を強調する。
- ・クラブにおけるネットワークづくりの機会ならびにクラブ独自の主な活動について周知を図るようクラブに奨励する。

となっており、この5つの項目を推進していきたいと存じます。
中核となる価値観（奉仕・親睦・多様性・高潔性・リーダーシップ）を土台として奉仕の実践を推進し、公共イメージと認知度の向上を図りたいと思います。～どうぞご理解のほどお願い申し上げます。

8月3日・4日の両日「厚木あゆまつり」にブースを出し多くの方々に国際ロータリーが1979年フィリピンの600万人の子供達にポリオの予防接種活動を始めて、以来ポリオ撲滅まであと少しとなりました。「エンド・ポリオ・ナウ」をPRいたします。

またこのブース出店のメディア対策として、ジェイコム（湘南）グループ取り上げていただけます。

事前として7月27日（土）12:30~1:30の番組の中と、7月29日（月）の午後6:00から放映が予定されています。

また、8月3日・4日の当日の様子も放映していただく予定です。

そして未来の夢計画ですが
本年度から世界中で「未来の夢計画」が実践されます。
奉仕と価値観を活かすことにより素晴らしい影響をもちますことが見えています。

行動する絶好の機会となります。
7月2日ロータリー財団地域セミナーで、ロータリー財団管理委員でもございます小澤一彦PGからのお話をご紹介します。

「7月1日から新しい未来の夢計画が準備を経てスタートしました。実施した100のパイロット地区の90%近く今までより良いと答えを出している。

また外部の方々がどう評価しているかですが、この4月にトーマスエジソンの名前を冠にしたエジソン賞というのがアメリカにあり、未来の夢計画が「ライフスタイルと社会的影響」部門で銀賞を受けた。この申請は6000件あったそうで、審査員はこれまでの受賞者学識経験者、開発工学・科学・医療の分野の第一人者またアメリカのトップ企業の幹部によって構成されるの方々の投票によって決まるもので、価値ある賞だと思えます。」と語られましたことをご紹介します。ありがとうございました。

最後に親炙の心についてお話しをさせていただきます。
私は若い時から「親炙」ということばを大事にし、大切にしていまいりました。

私も事業を営んでおりますので、人と出会う事が多くあります。
1人の人間として考えて見ますと誰もが限られた時間の中で限られた範囲の中で人生・時間が過ぎていきます。

この過ぎ去っていくこの「時空」を自分自身にとって、どう生かされているのか、生きているのか、を考えて見ますと、本日もそうですが、出会った方々が各々魅力があり人間味をお持ちの方々です。それぞれの業や地域でリーダーシップを兼ね備えている方々でもございます。

この出会いを大切にすることにより刺激を受け感化されることが多くあります。

この刺激・感化することにより自分自身の人生、とり分け生き方に変化をもたらしてくれます。

多くの人と出会い相互に影響し合い研鑽できること「親炙の心」であり「ロータリーの心」に通じることだと存じます。

・ここで見つめ・考え・行動しながら地域や世界にかなった生き方を皆さんと一緒に創っていきたく存じます。

・ロータリーで人の心を動かすことはプロジェクトやプログラムであれ子供達の笑顔であれすべてロータリークラブから始まります。2013-14年度は積極的に率先し、自らが模範となり地域において活発に多くの人に出会い実践しようではありませんか。

本クラブの会長・幹事をはじめ皆様方のご健勝をご祈念申し上げます。



クラブ協議会

国際奉仕委員会の活動内容について

国際奉仕委員長 杉山茂久君

1. 地元の国際交流協会の活動を支援するという内容について
①協会より養成のあった時にはその都度検討をしたうえで行事に参加したり、資金の援助をする。
 - ・協会の周年行事
 - ・カンボジアからの舞踊団公演に資金援助等。
- ②RC会員の有志が個人としてホームステイの受け入れに協力をする。
 - ・本年4月に湯河原町の姉妹都市であるポーツマスティーブンスよりの訪問団（7名）のうち2名受け入れ（1家庭）
 - ・本年7月にやっさ国際交流ホームステイ参加者（20名）のうち2名受け入れ（2家庭）
2. 友好クラブである立山RCとの歴史、具体的な交流内容について
①湯河原町と立山町の姉妹都市は当時の湯河原町長米岡様（元湯河原RC会員）と立山町長大辻様（現在立山RC会員）が商工会の青年部長の時にアメリカ研修と一緒に参加をして以来の親交があり、また湯河原の豪族であった土肥實平の関係者が現在も立山町近隣に在住しているというご縁もあり、2003年11月1日に姉妹都市の締結がされました。町より民間交流の話があり、それを機に湯河原クラブ（西山 敦 会長）と立山クラブ（坂井 和男会長）の友好クラブを2004年8月3日に締結した。
- ②相互の周年記念行事に会員とご夫人を含め参加をしている。
 - ・立山より締結時、45周年、50周年の3回
 - ・湯河原より締結時、20周年、25周年（本年10月）
 - ・周年行事の案内と参加依頼のため会長以下有志が事前にクラブ訪問
 - ・締結時には立山より桜の木、湯河原より梅の木を記念植樹
 - ・会員による相互のクラブ例会への出席

湯河原ロータリークラブ